

第2部（小学校3・4年生の児童）の作品は、

自分の身の回りの世界から、もう少し 見方や考え方が広がった作品が、多くなりました。自分たちの将来の夢、環境のこと、社会のこと、学校の友達のことなど、テーマがどんどん広がり、クラスのお友達だけでなくいろいろな方々に、それもたくさんの方々に、質問したり、アンケートをお願いしたりと、活動の範囲がひろくなってきて、おもしろい作品がたくさんありました。きっと、「なぜかな?」「ふしぎだな?」「どうしてかな?」「みんなはどうしているのかな?」なんていうことをどんどん調べてグラフにしてくれたのでしょうね。

《目のつけどころ》がいいのに、あと表現に一工夫があれば、テーマと直結した調査項目に絞れば、もっともったいい作品になるのにというものがありません。

背景の色や、グラフの色使い、イラストの入れ方等工夫をこらし、自分の気持ちや考えがよく伝わるようにしてみてください。